

2024年1月1日～2024年12月31日の間に

岡山大学において献体をされたご遺族の方へ

—「性機能を制御する脳—脊髄神経回路系の研究」へご協力のお願—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学病院 泌尿器科 富永 悠介

1) 研究の背景および目的

性機能を制御する神経回路系は、自律神経系を介して脳と脊髄に広く分布しています。性欲不全や性機能障害の病態生理を理解するためには、これらの神経回路系の動作メカニズムを解明することが重要です。近年の先端技術を用いた動物実験により、性機能を司る神経回路系の理解が進んでいますが、ヒトにおけるこれらの神経回路系の存在については未だ明らかになっていません。

本研究では、献体されたご遺体より採取した脳（特に間脳-下垂体領域）および脊髄組織を用いて、凍結切片、パラフィン切片、および樹脂切片を作製します。これらの切片に対して免疫組織化学的手法を適用することで、性機能に関連する神経回路系の分子・神経解剖学的特徴を明らかにすることを目的とします。本研究の成果は、ヒトにおける性機能制御の神経基盤の理解を深め、性欲不全や性機能障害の病態解明および治療法開発に寄与すると期待されます。

2) 研究対象者

2024年1月1日～2024年12月31日の間に岡山大学において献体された男性4名および女性4名かつ、生前に自由意思による同意をご本人から文書で取得し、ご遺族より同意を得たご遺体を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2026年3月31日

試料・情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から1週間後

4) 研究方法

岡山大学において献体されたご遺体より脳ならびに脊髄組織を採取し、げっ歯類で明らかになっている性機能を司る神経回路系を分子神経解剖学的に顕微鏡観察します。

5) 使用する試料

この研究に使用する試料として、献体されたご遺体より間脳-下垂体領域の一部、および脊髄を使用させていただきますが、氏名、生年月日などの直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、ご遺体の情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

6) 使用する情報

この研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきますが、ご遺体の氏名、生年月日などの直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、ご遺体の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、身長、体重、手術歴、既往歴

7) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院泌尿器科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

8) 研究資金と利益相反

本研究は、研究責任者または研究分担者が所属する診療科／学科の運営費交付金で実施します。また、利益相反はなく、その点を利益相反マネジメント委員会に申告します。

9) 研究計画書および個人情報の開示

ご遺族の方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、ご遺族の方が希望される場合にのみ行います。ご遺族の方の同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などの献体者を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、献体者の試料・情報が研究に使用されることについて、ご遺族の方もしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 泌尿器科

氏名：富永 悠介

（平日 8時30分～17時00分） 086-235-7287

（土日祝日夜間） 086-235-6708